



親子が加西のお米でパン作り



▲できたてのお米パンをお母さんに手伝ってもらいながら切る子ども

加西市農村女性組織連絡協議会が主催する、親子料理教室が7月25日に南部公民館で行われ、親子10組23人が参加しました。

約50年前と比較すると、一人当たりのお米を食べる量が半分になっていることから、加西のお米をたくさん食べてもらおうと企画されました。

参加者は「お米で作ったパンは、モチモチしていて美味しい」と食感を楽しんでいました。

小学生が英語の世界を体験



▲ルーク先生と英語で会話をしながら輪投げを楽しむ小学生

南部公民館は、小学生にゲームなどを通じて英語に親んでもらおうと8月20日、英会話教室のルーク先生らを講師に招いて、「イングリッシュ・デイ・キャンプ」を開催しました。

参加した約40人は、手作りのパスポートを持って入国体験をしたり、英語でゲームをしたりしました。慣れない英語の会話に戸惑いながらも、身振り手振りをして、英語の世界を楽しんでいました。

暑い夏に全力で「雪合戦」



▲相手チームの選手めがけて雪玉を全力で投げる参加者（ジュニアの部）

加西商工会議所主催の「第7回真夏の雪合戦」が7月29日、伊東電機丸山グラウンドで開催されました。

東京や広島などの各地から計33チーム、約330人が参加し、子どもから大人まで熱い戦いを繰り広げました。優勝チームは次のとおりです。

- ジュニアの部 北条野球A
- レディースの部 なでしこ kasai
- 一般の部 瀬戸内雪球団（広島県福山市）

泉少年野球クラブが県大会で優勝



▲優勝した泉少年野球クラブのメンバー

県内の頂点を決める「第22回県選抜都市対抗少年野球大会」が8月12日からの3日間、アラジンスタジアムなどで開催され、泉少年野球クラブが初優勝しました。富田少年野球団は3位と健闘しました。

最優秀選手（MVP）に選ばれた泉の福田大樹主将は、「粘り強い守りで優勝することができました。チームメートの頑張りのおかげでMVPにも選ばれ、とてもうれしい」と喜びを爆発させていました。

播磨下里駅にトイレと石庭を新設



▲整備されたトイレ（中央左）と石庭

100人を超えるボランティアと寄付者の協力で、北条鉄道・播磨下里駅が生まれ変わりました。

水洗の洋式トイレや障害者用のトイレを設け、ホーム上にあった雑木を除去して石庭を整備しました。

北条鉄道㈱の佐伯武彦副社長は「多くの方々の協力で、他にはない駅になった。きれいになった駅やトイレを利用することで、たくさんの方に関心を持ってもらい、北条鉄道を愛してもらいたい」と話しています。

「ひょうご民俗芸能祭」が加西で開催



▲雅やかな舞で観客を魅了する、県立播磨農高の郷土伝統文化継承クラブによる播州歌舞伎「寿式三番叟」

県下各地の民俗芸能団体が芸能を披露する「ひょうご民俗芸能祭ⅠNかさい」が8月5日、市民会館文化ホールで開催されました。

勇壮な東郷・優雅な西郷、2つの「住吉神社龍王の舞」や、3年に1度、地元の祭りで見られることのできない「綱引獅子舞『谷渡り』」など、加西市を代表する民俗芸能も多数披露され、会場に集まった600人は熱心に見入っていました。

加西のものづくり企業の技術に興味津々



▲㈱千石で、「グラフィートヒーター」の製作過程を見学する参加者

加西商工会議所は、地元企業に興味・関心を高めて、将来の就職活動に役立ててもらおうと7月27日、「夏休み産業・観光ツアー in かさい」を開催しました。

小学生の親子50組100人の参加者は、市内のパナソニック、伊東電機、千石を見学。「知らないことばかりで新しい発見ができて楽しかった」「加西にも大きな会社があることを知ることができてよかった」などと話していました。

加西の野菜を使ったオリジナルカレー作り



▲カラフルに彩ったカレーを作る参加者

8月20日、善防公民館は加西産の野菜を使った、オリジナルのカレー作りに挑戦する「カレー選手権」を開催、小中高生の8チーム28人が参加しました。

野菜を花型にくりぬいて「フラワーセンター」をイメージしたカレーや、卵やチーズを使って野菜が嫌いな人でもおいしく食べられるようにと心を込めたカレーなど、各チームがアイデアを振り絞り、見た目や味付けなどを競いました。